



議会だより

News from the Assembly

2010

平成22年

7月25日発行

No.117

○発行...太良町議会編集委員会

○〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151

○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



白浜海水浴場海開き初泳ぎ

平成22年度 一般会計

予算総額 54億7千百4万4千円

議会会議録がインターネットで見られます。

太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

6月定例議会

会期 6月4日～14日（11日間）

一般会計補正総額 1億6千7百4万4千円

（主）（な）（事）（業）

- ・ 口蹄疫の予防対策費
- ・ 畜産振興対策費
- ・ ノリ養殖の漁業不振対策費
- ・ 消防団員退職金等

報告第一号
一般会計継続費繰越計算書の報告

公会計システム構築委託

料総額千三百四十九万六千円、うち平成二十一年度の年割額六百九十五万円については、翌年度への通次繰越しが発生しなかったことについて。

報告第二号
一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

平成二十一年度国の第二次補正予算に伴う、地域活性化・きめ細かな臨時交付金対象の十四事業と、地域介護・福祉空間整備等補助金、子ども手当システム導入委託料、広域漁港整備事業、道整備交付金事業、辺地対策事業の五事業を加え

た、計十九事業の翌年度繰越額について。

専決処分の承認

・ 税条例の一部改正

公的年金の特別徴収制度の対象とならない六十五歳未満の者の徴収方法の改正

・ 国民健康保険税条例の一部改正

保険税課税限度額並びに高齢者支援金の引き上げと非自発的失業者に係る保険税の暫定的措置を行うため

・ 平成二十一年度一般会計補正

地方譲与税、地方交付税、国庫支出金等の額の確定に伴う財源措置と各事業費。

・ 平成二十一年度山林特別会計補正

緊急雇用創出基金事業の

確定。

建築工事

・平成二十一年度国民健康

中島・増田特定建設工

・平成二十二年太良町一
般会計補正(一号)

・平成二十二年太良町水
道事業会計補正

齡者等肉牛飼育基金繰出金

保険特別会計補正

事共同企業体

主なものは、口蹄疫の予

配水及び給水費二万三千

一億八百万円、合計一億五
千七百九十二万四千円の増

交付金等の決定。

請負金額

防対策用として消毒薬等の

円の増額及び総係費四万四

額。

・平成二十二年国民健康

二億三千二百五十七万

購入費用百二十万円、ノリ

千円の増額は共済組合負担

一般会計予算の総額は歳

保険特別会計補正

五千円

養殖の不振対策として漁業

金の率の改正に伴う。

入歳出それぞれ五十四億七

電気設備工事

不振緊急対策特別資金利子

・太良町農林漁業振興資金

千百四万四千円。

佐電工・江藤電気特定

補給事業費補助金十八万四

の融通に伴う事業の指定

請願書採択

建設工事共同企業体

千円、消防団員退職報償金

及び融資額の限度額の確

教育予算の拡充を求める

度予算で歳入不足を補填す

請負金額

と退職功労金七百五十万千

定

意見書の採択に関する請願

・育児休業等及び勤務時間

三千八百三十二万五千

円等で、合計九百十二万円

事業の指定

について。

等に関する条例の一部改

円

の増額。

家畜伝染病対策資金

意見書採択

正

機械設備工事

・平成二十二年太良町漁

融資額の限度

意見書採択

地方公務員の育児休業等

九電工・肥前特定建設

業集落排水特別会計補正

四千四百万円

教育予算の拡充を求め

に関する法律等の改正に伴

工事共同企業体

一般管理費五千円の増額

・平成二十二年太良町一

る意見書。

う。

請負金額

は、共済組合負担金の率の

般会計補正(二号)

選択的夫婦別姓制度の

・職員の給与に関する条例

四千八百八十二万五千

改正に伴う。

口蹄疫対策として、農林

法制化に反対する意見

の一部改正

円

・平成二十二年太良町簡

漁業振興資金利子補給事業

書。

条例の規定を整備する必

火葬炉設備新設工事

易水道特別会計補正

費補助金九十二万四千円、

永住外国人への地方参

要が生じたため。

富士建設工業株式会社

総務費三十八万六千円の

畜産経営支援緊急対策事業

政権付与の法制化に反

・太良町営火葬場新築工事

請負金額

増額は、人事異動及び共済

費補助金四千九百万円、高

対する意見書。

に伴う契約の締結

一億百八十五万円

組合負担金の率の改正に伴

費補助金四千九百万円、高

対する意見書。



我が町の少子化対策は

山口 光章 議員

一般質問

答 前向きに取り組んでいきたい。

児童館の今後の活用、利用は

議員 閉館になったアカシア園の跡地、建造物など、

町当局の目指す利用方法は、

町長 使用に耐え得る状況だから、再利用できればと考えている。

議員 指定管理者制度導入の意図でもあるのか。

町民福祉課長 大浦児童館の分は指定管理者でやりたい。

議員 子供たちのためになるような施設としての利用をしてみてもどうか。

町民福祉課長 今後どういった活用をしたがよいか考えていきたい。

少子化対策について

議員 我が町の少子化における対策は。

町長 新しい施策などを検討しながら、子供を産みやすく、育てやすい環境を整えていくことに地道に努力したい。

議員 この十年実行に移し、本気で取り組んできたのか。

町民福祉課長 地道にはやっているという状況だ。

議員 佐賀県次世代育成支援地域行動計画、このよ

うな国や県の動きの中で、我が町はこの少子化をどのように考えていくのか。

町民福祉課長 できるかぎりその計画を達成していくように今後は行動したい。

議員 子育てに優しい太良町を作るといふスローガンが必要だと思うが。

町民福祉課長 すべて子育てに優しい社会をつくるということに集約されていくような形になっている。

議員 少子化が、子供への影響、地域への影響、経済への影響は。

町民福祉課長 子供同士の交流機会の減少、広い地域での過疎化、高齢化が進行して地域社会の維持

が困難になるし、経済の影響は、労働力人口の減少に従って経済成長率を低下させる可能性があると思う。

議員 本当に太良町は、若い人達が子供を産んで、安心して育てることが十分に整っている町と思うか。

町民福祉課長 共働きをどうにかして支える仕組みをつくらないといけないのではないかと

思っている。

議員 共働きが九州一位、全国では九位となっている佐賀県だが、太良の状況は。

町民福祉課長 太良町の率はわからない。

議員 子育てと仕事の両立が必要だと思うが。

町民福祉課長 今後研究をしてやれるものならやってい

きたいと思っている。病後児保育ぐらいは太良町でも実施すべきではないか。

町民福祉課長 努力していきたい。



油津児童館の跡地



第五次行政改革を問う

見陣 恭幸 議員

答 状況に対応していきたい。

議員 行政改革の基本姿勢

として行政の考え方、又地域住民に対しての対応など考え方を聞きたい。

町長 自主財源が乏しく、

依存財源率は七十%を超え、国や県の財政政策等に左右される立場となっており、効率化を図りながら住民満足度を維持向上することを基本姿勢としている。

議員 費用対効果は行政評

価を行って策定するところだが、費用対効果ばかり気にしてもどうかと思うが。

総務課長 行政評価につい

ては十三事業、事務事業の評価をしているが、メリハリのある事業を実施していく。

議員 行政事務・組織機構

の見直しとは。

町長 実際の見直しとは、

・未だに対応できていない課題、
・役割を果たしていない事務事業、
・他と比較して優先度

・緊急性の低いと考えられる事務事業を明確にし進めていく。

議員 組織機構の中で、忙

しい課から、そもでもない課への応援等の対応は出来ないか。

総務課長 町長からも指摘



町営住宅

があっているが、そう

いったことを念頭に置きながら、今後推進をしていく。

議員 フレックスタイムを

利用して、時間延長は出来ないか。

総務課長 現在町民福祉課

は、二時間延長し、職員が当番制で実施しているが今後さらに検討していきたい。

町営住宅の運営と防犯体制は

議員 町営住宅の管理運営

はどうなっているのか。

町長 現在六団地、八十二戸あり建設課が管理している。

議員 団地のカギ等の管理

はどうなっているのか。

建設課長 三本作製し入居

されている方に二本渡し、残り一本と各団地のマスターキーを建設課が

管理している。

議員 町営住宅の防犯体制の整備状況は、

町長 何かあった場合は、

班長を通じて建設課に連絡をもらうことになっっている。

議員 現在、盗聴されたり

などの苦情はないのか。
建設課長 現在まではあっていない。

議員 個人経営のアパート

については、入居するとき鍵の交換を業者がするが町はどう対応しているのか。

建設課長 入居者の方から

申し出があれば入居者負担で交換している。

議員 防犯の面については

行政指導で対応できないか。

町長 維持管理の中で対策

を講じていきたいと思う。



口蹄疫対策と畜産振興を早急に

末次 利男 議員

答 早急に執行できる対応を

で以降の導入はない。

に実施することが必要と

され資金が回らない生活

町内への影響は、子牛や

言われるが対応はどうか。

手塩にかけた商品が

子豚のセリ市の閉鎖に伴

伝染病であり、感染力が

不安な窮状に一刻も早い

ない無収入状態であるこ

と、畜舎が不足すること、

緊急対策が待ったなしと

蹄疫が宮崎県で発生した。

強く牛、豚、ヤギ、羊等

思うが、畜産農家の希望

地域産業の危機といわ

偶蹄類に感染するので阻

の策が聞きたい。

れる口蹄疫は、本町に

止に向け、防疫体制を

町長 県、JAの対応を

とつても対岸の火事とし

しっかりと続ける。

待っているが、確実な結

て傍観は許されない。

が、此の機をチャンスと

論がはつきり出ないので

一刻も早く対策を実行す

とらえ、優良素畜の自家

町独自で畜産農家の要望

ることが、感染を食い止

保留、町内保留による母

に近い考えで今意詰めて

める唯一の策と言われる。

牛更新や規模拡大、肥育

おり、早急に執行できる

宮崎県で非常事態宣言

への取組等、太良牛ブラ

よう対応したい。

が発令されたが、本町で

ノドの確立を目指した意

キャトル、ブリーディン

の影響と対応は万全か。

欲があるが、市場が閉鎖

グステーション代替策が

町長 平成二十一年末まで

を前提に、可及的速やか

最大のピンチである

最終結論は出ていない。

決議され、七項目が町へ

緊急事態であり、ス

農林水産課長 県の補助事

業、JR振興策、JAの

業、JR振興策、JAの

業、JR振興策、JAの



口蹄疫消毒状況



養豚場



平成二十二年度の 施政方針について問う

牟田 則雄 議員

答 その時の状況に応じた対応を

議員 基本的な六つの方針

を掲げられているが、これは第三次太良町総合計画、二〇一一年までと同じか。

町長 同じであり、その第

一の柱として「販いたら活気ある産業のまち」の実現に向けた予算を計上している。

議員 販いの目安として、

町長になられた平成十八年と二十一年度で町産出の総生産額はどう変わったか。

企画商工課長 十九年度の

資料が最新ですが市町民経済計算による総生産額は二百十七億九千四百万

円である。

議員 農林業の内、農業部門総生産額はいくらか。

企画商工課長 前の資料では三十四億三千万円である。

議員 農業の総算出額は平成十七年で六十六億五千万円であり減つても二割程度で約五十三億ぐらいと思うが。

農林水産課長 いろんな資料があるが農林水産統計関係ではそうだと思う。

議員 その中で畜産が占める割合は何割ぐらいか。

農林水産課長 約半分の四十億円程度と思う。

議員 畜産が占める割合が

五十六%から六十%近く

と思うが、今回宮崎県で発生した口蹄疫等考えた時太良町に生産拠点があれば助かると思うが、どうしてキャトルブリーディングステーション事業を取りやめソフト面の要望七項目に変更されたのか、畜産農家が積極的に要望されたのか、町がこの事業に消極的なため、しかたなく七項目の要望に変更されたのか。

町長 消極的云々というより直営で生き物を飼育できるかが一点、畜産振興は打ち切りではなく別な方法はないかと私から提案し畜産農家からではない。

議員 第三次計画の農林業の中に公営牧場等を設置しサポート施設の充実を図るとあるが、太良町の公営牧場はどこにあるのか、またどのような形で

これを実行していくのか。

企画商工課長 後期基本計画を作成する段階ではキャトルステーション事業を計画の中に取り入れるという経緯である。

議員 畜産農家の七割以上が六十五歳以上となっているが飼われている頭数の割合による高齢化率はどうか。

農林水産課長 若手と高齢者が一緒の農家等もあり正確な数は把握していない。

議員 七十%〜八十%近く後継者がいると聞いています。

町長 農業の生産額の六十%近くを上げている畜産業の他にどの部門を伸ばしていく考えか。

町長 農業、畜産両方幾らかの比率はあるが両方共に伸ばす考えでいる。



子ども手当受給の人員と総額は

久保 繁幸 議員

答 約千二百七十名の千六百五十万円

議員 六月一日からスタートした子ども手当支給はいつからどのような方法で行うのか。

町長 原則、口座振り込みで実施するが一部の人には窓口払いで、六月十一日が支給日としている。

議員 対象人員と総額はいくらか。

町長 約千二百七十名位で総額は千二百五十万円位になり、本町の事務財政負担等は二千三百万円程度と試算している。

議員 給食費、保育料の未納、滞納対策はとれないか。

町長 保育料の未納者については、窓口支払いとし、その場でお願いをし、徴収する予定であり、給食費未納者については、振り込み後、直ちに給食センター職員が各世帯に徴収に伺うことにしている。

議員 今まで児童手当は所得制限があつて児童手当を受給していなかった子供は何名か。

町民福祉課長 十七名である。

町民福祉課長 本町に該当者はいない。

議員 保護者が外国におられる子どもには無支給だが本町での該当者は。

町民福祉課長 太良町にはいない。

議員 政府はこの子ども手当の経済効果は少なくともプラス効果があると云つてゐるが、どのような効果が考えられるか。

町民福祉課長 どれ程の効果があるか、私には検討がつかないが、貯蓄に回し将来の子ども達のために使おうという考えである。

議員 政府は来年度も一千万円として、すべての子どもが同じサービスを受けられるため、二〇一三年度までに幼稚園、保育園、児童館を子供園として一体化する法案の提出を行っているが、このようになった場合、本町はどうするのか。

教育長 現状ではなかなか難しい状況であり、特別子ども手当問題と絡めて考えてはいない。

議員 子ども手当が少子化対策になる様希望する。

町立病院の労使協定はいつ？

答 一年から一年半はかかる

議員 今年四月から地方公営企業法の一部適用から全部適用になり、民間的手法が導入できる町立病院の労使交渉、協定はいつ頃の予定か。

病院事務長 締結には一年から一年半はかかると思つてゐる。

議員 病院の累積赤字分を今後どこまで本町が保障等をするのか。

病院事務長 累積赤字約六億四千万円は毎年の減価償却の赤字分がほとんどで、何ら負債を伴つていない赤字ではないので町が保証する種のものではない。

議員 毎月の出納検査への報告は、執行機関のチェックは受けているのか。

病院事務長 管理者(院長)は町長への経理状況を提出しなければならぬので、今後は執行部へ提出報告する。

議員 医療費の未収金について債権が失効したものはあるが、今後はどのような取り扱いにするのか。

病院事務長 現在までの条例では不納欠損処理分について、規定がなかったが、今回全部適用移行に伴い、会計規定を設けたので、処分を考え、未収金については、これまで通り地道に徴収を継続して回収に努める。

議員 以前活動していた、

接遇、収益、満足度、節減の各チームは現在はどうなっているか。

病院事務長 委員会の統合を行い、医療安全、感染防止の委員会を立ち上げ幹部会に報告するシステムを作り、幹部会での検討を行っている。

議員 町民から愛される病院運営を望む。



町立太良病院

総務常任委員会

所管事務調査



町立太良病院にて



改築される大浦小学校

さる四月二十日に行った、本委員会の調査目的は、新たに病院長兼事業管理者に、経営に対する権限と責任が移ることから、経営に対する姿勢、医療確保の実態、給与体系、クレーム処理、人材育成、救急告示病院の体制整備と使命等々について意見交換を行ったが、新体制から間がなく、課題の調整と、改革に向けての行程表の作成中で、改革は先ず人の意識からと言われ新体制への移行した利点を十分に生かし、経営意識と組織整備を急がれる事を強く要請した。

次に教育予算の中で、平成二十三年度大浦小学校管理棟の建設に向けた設計委託料二千五百万円と、多良小学校管理教室棟耐震補強工事費三千三十六万二千元、多良中学校管理教室棟耐震補強工事費二千八百万二千円が、前年度に続き予算が成立した。

特に校舎建設関連予算は数十年ぶりの事でもあり、対象の大浦小学校管理棟は三十七年水害直後に急造された建物で、体力度がなく、改築については異論はないにしても、将来多目的に使えるような位置、規模等々を設計に限りなく生かすことが今回の狙いであった。

町民の安全と安心を守ると共に、疲弊している町経済を支え、地域の活力を回復させていくことの基本理念に立ち、予算執行の合理化に努めることが肝要と思いい報告とする。



区長会との懇談会開催

平成22年6月22日

- ・議員定数の件について
- ・有明海沿岸道路の件について
- ・町有林の今後について

議会の活動

4月～6月

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|------------|----------------|------------|-------------|-----------------|---------|-------------|--------------|----------------|------------|----------|-------------|----------------|----------------|--------------|---------|------------|------------|-----------|----------|---------|---------|----------|---------|-----------|---------|----------------|-----------------|--------------|--------|---------|----------|-----------|-----------------|-----------|----------|-------------|-------------|-------------|----------|-------------|----------|----------------|-------------|--------------|-----------|-----------|-------------|-------------|----------------------|---------------------|
| 5・20 | 5・19 | 5・18 | 5・17 | 5・16 | 5・12 | 5・7 | 4・29 | 4・28 | 4・27 | 4・26 | 4・25 | 4・22 | 4・20 | 4・14 | 4・10 | 4・9 | 4・8 | 4・6 | 4・5 | 4・4 | 4・1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・森林組合通常総会 | ・議長・副議長研修会 | ・国会議員との懇談会 | ・議長・副議長研修会 | ・議長・副議長研修会 | ・ソフトボール大会総合開会式 | ・議長・副議長研修会 | ・議会だより編集委員会 | ・J A太良地区みかん部会総会 | ・町民体育大会 | ・議会だより編集委員会 | ・杵藤地区広域圏組合総会 | ・原口一博総務大臣就任祝賀会 | ・育英学生審査委員会 | ・県議長会研修会 | ・議会だより編集委員会 | ・赤松農林水産大臣意見交換会 | ・総務常任委員会所管事務調査 | ・身体障害者福祉協会総会 | ・戦没者慰霊祭 | ・軟式野球総合開会式 | ・大浦地域婦人会総会 | ・小・中学校入学式 | ・太良高校入学式 | ・教職員赴任式 | ・消防入退団式 | ・交通対策協議会 | ・教職員辞任式 | ・自衛隊父兄会総会 | ・防衛協会総会 | ・第26回鹿島ガタリンピック | ・鹿島藤津衛生施設組合臨時議会 | ・納涼夏まつり運営協議会 | ・商工会総会 | ・観光協会総会 | ・議会運営委員会 | ・広域圏組合臨時会 | ・鹿島地区安全運転協会通常総会 | ・6月定例議会招集 | ・議員全員協議会 | ・佐賀県町村臨時議長会 | ・6月定例議会一般質問 | ・6月定例議会議案審議 | ・議員全員協議会 | ・6月定例議会議案審議 | ・議員全員協議会 | ・太良町スポーツ振興会理事会 | ・火葬場建設検討委員会 | ・太良町体育協会評議員会 | ・区長会との懇談会 | ・かに旅館組合総会 | ・町営火葬場建設起工式 | ・果実農業協同組合総会 | ・太良少年剣道クラブ創立30周年記念大会 | ・ふれあいショップ沖見亭開店セレモニー |



山開き式

平成22年7月16日

多良岳登山、中山キャンプ場の安全を祈願して、農林事務所、各小中学校他、関係者多数参列のもと山開き式が開催された。



本年の梅雨も大豪雨で多方面に大きな災害を残し、やっと梅雨も明け好天候の真夏日和が訪れて参りました。

被災を受けられた地区には心から御見舞い申し上げます。一刻も早い復旧を期待致します。

本町は大きな被害もない状況で、これも町内全域の整備が進んでいる結果でもあると考えられます。

本町の海開き式七月九日山開き七月十六日盛大に開催され、愈々夏本番のシーズン到来であります。

御家族御揃いで御利用下さい。

編集室より

編集委員会

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 木下 繁義 |
| 副委員長 | 見陣 泰幸 |
| 委員 | 牟田 則雄 |
| | 山口 廣 |
| | 所賀 廣 |
| | 平古場 公子 |